RIPPLE SAILING CLUB
NO.104

月刊 1991・5・15

RIPPLE

（発行）　500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

恒例 ヨット駅伝 （6月16日）

来る6月16日（日）すっかり恒例になりましたセイリングスポット対抗のヨット駅伝が行われます。
この大会は今回で7回目を迎え参加者は毎回100数十名を越すビックなイウ”エントになっております。
今回は場所を東京湾野比海岸に移しての戦いとなります。
過去の通算成績は区間優勝は数知れず取っていますが、総合成績は3位止まりでまだ優勝の美酒にはありついてはいません。
既に1．5チームが結成されまだまだ参加者を募集中です。

今年の大会は今までとちょっと違ったルールに成っておりますので、お知らせしておきます。
まずコースですが今までは沖合いにショート、ミドル、ロングのコースを作りましたが、今年は砂浜と平行に2個のブイを打ちそのマークを反時計回りに女性を乗せる1レグを除きシングルで帰走するのです。ですから帰走しているのが手に取るように見え、応援団と選手が一体となって、野次の歓声が聞こえてきそうな大会になりそうですね。
また、陸上マークの回り方ですが昨年から導入した足首を縛っての二人三脚は今年も変わりません。
当日は飲んで野次って初夏の一日を楽しみたいと思いますので、どんどん参加をお願い致します。

要項・帰走指示書抜粋

期日	平成3年6月16日（日）
参加料	1チーム10，000円　（一人2，000円）
会場	野比海岸沖
使用艇	ホッパーⅠorⅡ
チーム構成	5名（内女性1名）
ミーティング	10：30
スタート	11：00
コース	砂浜に平行に2個のマークを打ち反時計回りに1or2名乗り込み4周回る
賞	総合1，2，3位　トロフィー及び副賞 （ちなみに1位はバイクです） 区間優勝

PS・・・駐車場は15台確保してありまして各チーム1台ですので朝ピストン輸送か何かを考えましょう。

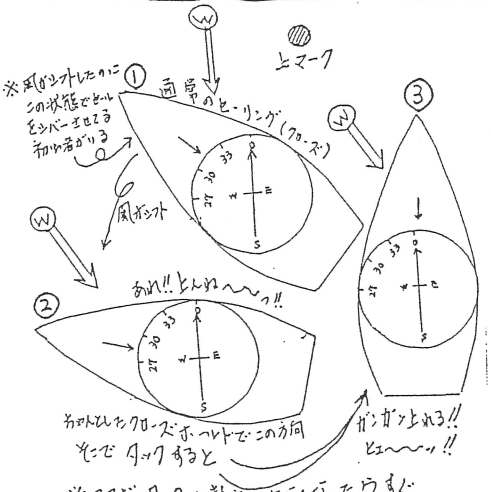
リプル カップ ヨット戦

去る5月12日（日）今年度2回目のリプルカップが行われた。
南岸に停滞前線が張り付き朝からどんよりとした空である。おまけに風も無く出来たらやりたくねーなーというコンディションなのだ。
そんなS氏の期待も虚しくいつものレース派は元気良く”おっはよーっ！”てなわけで集まりだしたのである。
みんなの熱気に負けたのか風も南に変わり、気持ち吹いてきたのである。
微風のためレグを短めにひいて約定刻どうりのスタート！
こういう風のない神経戦のレースはうまい、へたが如実に成績に出てしまうものである。
風の変わり始めでシフトしっぱなしのコンディションなのであるが、意識と言うのは面白い。上マークまではスタートと同じクローズホールドと決め込んだ選手はあっけなく下位の方にずるずると転落なのだ。
コミッティーボートで絶えず風向を確認していたが、スタート時より50°も振れ多いときは130°も振れ回ってしまうなかで上位人は的確に振れをつかんで、下位の選手をがんがん引き離して行くのである。
ちなみに第3レースのトップ艇のタイムは16：56で最下位の選手のタイムは48：51、その差30分ととんでもない開きになってしまうのだ。（まっこれは異艇種、風速ががくんと落ちたことも関係していますが・・）
ある程度風速があると的確なセールトリムで無くても艇は進み、上位人と余り差は出ませんが、今回のように微風だと的確にセールに風を流してやらないと揚力が出なくトンでもなく遅れてしまうのです。
また、振れがある場合は図のような作戦に出ないと差は広がるばかりなのです。この辺がヨットって知的スポーツと言われるのかも知れませんね。
とにかくレースでは上りで差が大きく開くので先月号のセールトリム、今月の振れの対処をいつも考えて走ると、あなたも何時のまにか上級者の仲間入りなのだ。　（でもって6月は9日（日）です）

＊＊＊＊　リプルカップ成績表　＊＊＊＊

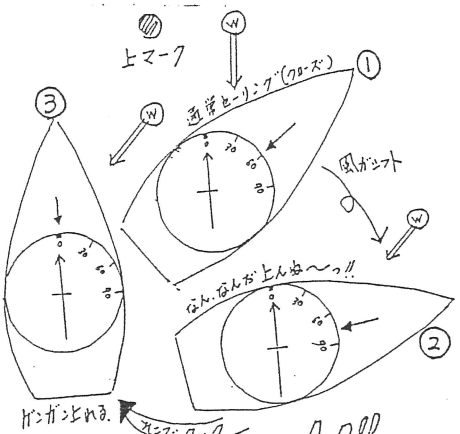
順位	氏名	艇種	1	2	3	総合
1	長谷川	ホッパー	1	2	1	3.5
2	藤村	ホッパー	2	1	3	5.75
3	長谷妻	マーチン	4	3	5	12
4	阪上	ホッパー	3	4	7	14
5	吉田	ホッパー	8	5	2	15
6	小原	自作	8	6	4	18
7	山崎	コンビ	8	8	6	22
8	片山	塚田ホッパー	8	7	8	23

図1（スタボータックの場合）



※コンパスがなくても通常の上りで上ってバックタインドが入って来たらこの状態になっている事が多いのでためらわずタック!!

図2（ボートタックの場合）



吉田さんの奥さんチーボー・桂木さんコミッティーのお手伝ありがとうございました。